

企業訪問 資源循環レポート

永井産業（株）統括本部

豊かな社会の実現と その持続的な発展のため CSR（社会貢献活動）を推進

永井産業（株）



永井産業（株）統括本部 監査役 永井 愛氏

大正14年永井古一氏が米屋として個人創業、昭和20年鉄工所の運営開始、昭和22年製紙原料の取り扱いを始め、昭和44年永井産業（株）設立。同年名古屋市一般廃棄物処理業許可取得、昭和55年愛知県及び名古屋市産業廃棄物収集運搬業許可取得、平成15年いち早くホームページを開設し、循環型社会構築を提唱。平成26年永井宏典氏が第四代目代表取締役役に就任。創業90年を迎えた今、永井産業グループ（永井産業（株）、エヌフロント（株）、エヌドライブ、（同）リサイクルトラスト、（株）常栄産業、リサイクリング名古屋協同組合）は各社の特色を活かした環境ビジネスを展開。平成28年統括本部を名古屋市西区に設置、監査役の永井愛氏に、「CSR」への取り組みについてお話を伺いました。

■経営理念

社員一人ひとりが経営理念や企業ビジョンを理解・共有することで、強固な組織づくりを目指す。

Mission / わたしたちが果たすべき使命・役割

わたしたち永井グループは、「環境」を通じ価値あるサービスを提供することで、人々の快適な暮らしを持続可能な社会の創造に貢献します。

Vision / わたしたちが目指すべき姿

人に役立ち、地域に信頼され、社会に求められる企業となる。



永井産業（株）本社
所在地／愛知県清須市西須ヶ口58番地

永井産業 株式会社 統括本部

■代表者／代表取締役 永井宏典

■所在地／名古屋市西区児玉3丁目37-22 ナカヤマビル5F

TEL 052-508-4153 FAX 052-508-4253



Value / わたしたちが社会に提供できる価値

- 雇用 - 働きがいとやりがいを引き出す労働関係を整え、新たな雇用の創出と維持を図ります。
- 育成 - 社員一人ひとりの自己成長に繋げ、自立と共助の精神を備えた人財を育成します。
- 環境 - コンプライアンスを徹底し、環境保全に配慮した事業活動を行います。
- 安全 - 労働災害の防止に最善を努め、企業の安全文化を醸成します。
- 組織 - お互いを尊重し合う秩序と調和のとれた組織を構築します。
- 地域 - ステークホルダーとのつながりを重視し、地域社会との共生に努めます。

CSR

同社は、廃棄物処理事業・再生資源化事業を通じ環境保全を努めることが重大な責務であると考え、ステークホルダーからの期待やニーズに応えるべくCSRを推進

社内における取り組みでは、社員はいずれかの委員会に属し、その役割を担う。効果として自己啓発の意識を高め、社内における協調性を育む。

また、自社の運営に携わることで業務への責任感が芽生え、対外的には顧客や地域社会との共生を図るための社会性が高まり、社員が職業人として大きく成長するための意識改革を図ることができる。

委員会活動

- リクルーティングデザイン委員会
新卒者採用活動、会社説明会の企画・運営、内定式及び入社式の準備を行う。
- 人財育成委員会
新入社員や中途社員の社内教育、人財の育成を行う。

社内褒賞制度の立案・確立、アワードの開催。

- SDGs推進委員会
環境マネジメントシステム（EMS）の運用、SDGs推進活動の実施
- 安全対策委員会
安全運転、エコドライブの意識向上を図ったドライバーズミーティングを行い車両事故や労働災害防止策の実施
- 社内活性化委員会
他の営業所との交流を深め社内を活性化させるイベントや社員総会の開催
- コミュニケーションデザイン委員会
SNSを用いての情報のアピールや、協力業者様との親睦を深めるためのイベントや社員総会の開催

各委員会は単年度制で、委員長は一般社員の立候補により選出される。委員長としての活動を通して、メンバーや組織のまとめ方、大きなイベントの計画や設営など、日常業務とは違った経験をし、社員として一回り成長することを期待

CSRを意識した社内組織の構築は、全社員が積極的に経営参画することで、社員と会社が共に成長するという一体感を得ることができた。(永井監査役談)

各委員会の委員長



左から SDGs推進委員会委員長 安江俊輔氏、リクルーティングデザイン委員会委員長 宇佐美達也氏、安全対策委員会委員長 鈴木大輔氏、社内活性化委員会委員長 後藤幸氏、人財育成委員会委員長 岩松歩氏、コミュニケーションデザイン委員会委員長 三浦あゆみ氏